

川崎マリンロータリークラブ

2024~25年度 RIテーマ

 2024-2025年度 RI会長
 ステファニー・アーチック

例会 毎週木曜日12:30
 例会場 煌蘭 ダイスビル6 F
 TEL: 044-245-0018
 事務局 〒210-0004 川崎市川崎区大島1-26-13-1F
 TEL: 044-200-9249 FAX: 044-200-9252
 E-mail marin-rc@eagle.ocn.ne.jp



- ★司会 峰 孝之 会員
- ★点鐘 伊藤 恒満 会長
- ★ロータリーソング 「我らの生業」
 指揮者: 中條 藝立 会員 ピアノ: 瀧口 幹子 会員

ゲスト 及び 卓話者 紹介 伊藤恒満 会長



国際ロータリー第2590地区
 職業奉仕委員会
 横浜緑ロータリークラブ
 齋藤 光宏 様

ビジター紹介 山崎美津夫 会員

○ありません

出席報告 森山宏之 会員

会員数	出席率 該当者	出席者	欠席者	ホームクラブ 出席率	メーク アップ	修正 出席率
34	29	26	3	89.66		
(備考)						

会長報告 伊藤恒満 会長

1. 「ロータリー・リーダーシップ研究会・卒後コース」開催。
 有参加資格者へ事務局から詳細を配信している。
 締切:1月31日(金)
2. 地区補助金プロジェクト募集のお知らせが地区よりきて
 いる。申請の締切:2月28日(金)
3. 2月26日開催「ロータリー希望の風 奨学金チャリティ
 コンサート」のチケットの購入期間が延長された。
 詳細は事務局よりメールが配信されている。
4. ポール・ハリス・フェローとマルチプルポールハリスフェロー
 の認証ピン、感謝状の授与。
ポール・ハリス・フェロー
 松下会長エレクト、瀧口会員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 第7段階 小山 会員 第5段階 島田 会員
 第4段階 野口 会員 第3段階 西尾 会員
 第2段階 茶谷 会員 第1段階 小枝 会員
 第1段階 増田(洋) 会員



幹事報告 石田 生 幹事

1. 川崎中央RCさんが創立40周年を迎える。
 4月7日(月)15時30分より横浜ベイシェラトンにて
 周年記念式典を開催される。
 出席希望者は事務局まで。会長幹事は出席予定。
2. 川崎北RCさんの65周年記念式典がある。
 幹事、山崎親睦活動委員長が出席予定。
3. 2月3日、会長幹事会開催。
 伊藤会長、林副会長で出席をする。

*近隣RCからのお知らせ

○ありません

*週報を送ってくださったRC

○ありません

今後の予定

- 2月6日 外部卓話
 ファイナンシャルプランナー
 グラフィックデザイナー 他
 ソニー生命保険株式会社
 立川 健悟 様
- 13日 休会(定款細則 祝日週)
- 20日 会員卓話 小松崎 彩子 会員
- 27日 休会(定款細則 祝日週)

委員会報告

○ロータリー広報雑誌 松中会員
 ロータリーの友、一読してください。

○親睦活動委員会 山崎委員長

♡1月のお誕生日♡

- 18日 小松崎彩子 会員
- 26日 小山 宏明 会員
 茶谷 龍太 会員



★横浜緑ロータリークラブ 齋藤 光宏 様

本日は卓話に参りました。よろしくお願いいたします。

◆野口会員

2月2日(日)稲毛神社の節分祭、出席の皆様、当日は天気が悪そうですがよろしくお願いいたします。

◆増田(敏)会員

昨年で61才になったので65才社長卒業、会長就任に向けて会社の立て直しを行います。

◆河口会員

齋藤様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

◆小山会員

地区職業奉仕委員会 齋藤光宏様、本日の卓話楽しみです。

◆鈴木会員

今年になって初めての例会となりました。

本年も宜しくお願い申し上げます。

地区職業奉仕委員会 齋藤様、本日の卓話宜しくお願い申し上げます。

◆中條会員

先日寒気の中、伊藤会長はじめご来店の会員様、誠に有難うございます。感謝致します。

◆三役(伊藤会長 林副会長 石田幹事)

齋藤様、本日は職業奉仕卓話よろしくお願いいたします。

本日のニコニコ 19,000円

累計金額 381,000円

本日の卓話



『職業奉仕について』

国際ロータリー第2590地区
職業奉仕委員会
横浜緑ロータリークラブ
齋藤 光宏 様

【略歴】

2002年 5月 行政書士あおば行政法務事務所 開設
2020年11月 横浜緑ロータリークラブ 入会
2023年 7月 地区職業奉仕委員 就任
2024年 7月 クラブ幹事 就任

決議23-34序文

■ In Rotary, Community Service is to encourage and foster the application of the ideal of service in each Rotarians personal, business, and community life. ロータリージャパンの訳文

■ ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである。

齋藤様のまとめ

○職業奉仕の定義は、決議23-34の序文に書いてある。
○決議23-34では、職業奉仕とは、ロータリアンそれぞれが、自分の職業生活に現実的で合理的な企業原理(奉仕の理念=the ideal of service)を応用という原則を推し進めることと定義される。
○この企業原理(奉仕の理念=the ideal of service)は職業生活だけでなく、個人生活においても社会生活においても応用すること。
○ロータリーのサービスの理論を団体で学び個人でそれを応用すること。
○すなわち、ロータリークラブは「奉仕活動を目的とする団体」ではなく「サービスの理論を学び、これを実践する人の集まり」である。

『職業奉仕』の定義

国際ロータリー第2590地区

職業奉仕委員会 委員長 横浜港北RC 文責 桑原薫 様

①梅吉翁はServiceを「サービス」と訳しましたが、1934年の外国語禁止提案によって「サービス」が「奉仕」に書き換えられたため、重大な誤解が生まれました。なぜなら、ServiceはWork・Activity・Dutyの代わりに使われているからです。なお、カタカナのサービスは無償だったり有償だったりしますが、英語のService に無償という概念はありません。

本来、奉仕もServiceも「仕えること」ですが、奉仕が江戸時代に「無償の尽力」という意味をもつ一方で、Serviceは産業革命を通して「有益な働き」「果たすべき務め」という意味をもったのです。つまり、奉仕は利益を生みませんが、Serviceは利益を生むのです。

② 1908年、ロータリーは「一つの経営学」を提唱しました。その核心がHe Profits Most Who Serves Best(最善の貢献が最大の利益を生む)というPrincipleです。Principleとは、目標とすべきIdeal(理想的な原理)のことです。1915年、このPrincipleは、哲学委員長グレン・ミードにより、The Ideal of Serviceと呼ばれ、1918年に企業のBasis(基本原理)として推奨されました。なお、The Ideal of Serviceは1934年に「奉仕の理想」と訳されました。

③ 1922年、ロータリーがObject(目標)に掲げたのは「社会奉仕」ではなく「一つの生き方」でした。それは「ロータリアン各自が、個人生活・職業生活・社会生活に、The Ideal of Serviceという名の原理を適用する」という生き方です。つまり、ロータリーは「商売を成功させるための経営学」を普遍化し「真の幸福を掴むための哲学」に高めたのです。1923年「この生き方を人に勧め、自分の心に抱き続けること」をCommunity Serviceと呼びました。しかし、この固有名詞が「社会奉仕」と訳され、1907年に始まったCommunity Service Activitiesが「社会奉仕活動」と訳されたため、両者が混同され、論理が混乱したのです。

④ 1923年「サービスの理論という名の経営学を団体で学び、これを個人で実践に移すこと」という原則が再確認されました。そのため、団体で実践するCommunity Service Activities(社会貢献活動)は「ロータリーの原則に反するもの」になってしまったのです。しかし、ロータリーは、この活動を「会員を訓練するための手段」「いわば研究室の実験」として容認しました。ただし「単年度で打ち切ることが望ましい」などの七つの条件をつけ、この活動がロータリーのPurpose(目的)にならないようにしたのです。

⑤ 1927年、ロータリーは、Community Serviceという名のMovement(運動)を、個人生活部門・職業生活部門・社会生活部門に分け、夫々を「Club(クラブ会員の)Service」「Vocational(職業的)Service」「Community(社会的)Service」と呼びました。1934年、これらは「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」と訳され、「クラブに対する奉仕」「職業に対する奉仕」「社会に対する奉仕」と捉えられました。しかし、この捉え方だと「職業に対する奉仕」が意味不明となりますから、この捉え方が間違いだと分かります。

⑥ 正しい捉え方は、前述の通り「Community Service(1923)が1927年に三分割されて、三つのServiceになった」という捉え方です。つまり「職業奉仕」と訳されたVocational Serviceの定義は「ロータリアン各自が、職業生活(ビジネスライフ)に、The Ideal of Serviceという名の原理を適用するという生き方を、人に勧め、自分の心に抱き続けること」です。



クラブ会報担当委員：増田 敏雄